

令和3年 2月定例会

福井県議会だより

第32号

審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください



定例会の概要

2月定例会は、2月16日に開会し、3月17日まで30日間にわたって審議を行いました。

開会日には、1月の大雪被害を受けて、北陸自動車道と国道8号の同時通行止めを慎重に検討することなどを求める「集中降雪時における抜本的な除雪体制の強化と支援を国に求める意見書案」が可決されました。知事提案理由では、原子力政策に関し、関西電力から使用済み燃料の中間貯蔵施設の計画地点について「提示」があったこと等を受けて、美浜3号機、高浜1、2号機の再稼働について議論に着手するよう要請がありました。また、新型コロナ対策や大雪被害の緊急対策を盛り込む過去最高となる令和3年度一般会計予算も提案されました。

代表質問、一般質問では、中間貯蔵施設の計画地点の単なる「提示」をもって、再稼働議論に入るとの判断に至った知事の認識について質疑が繰り返されました。その結果、中間貯蔵施設の問題と40年超原発の再稼働を切り離して議論したい、との知事の考えが示され、以降、本格的な議

論に入ることとなりました。このほか、新型コロナワクチンの接種体制や集中降雪時の実効的な交通確保策などについても質疑が行われました。また、一般質問2日目には大雪の除排雪経費を含む2月補正予算案を可決しました。

予算決算特別委員会では、原子力政策の方向性や立地地域の将来像、防災対策等について理事者の考えをただしていきました。しかし、議論を深めることはできず、判断材料が揃った段階で、改めて再稼働の議論を進めることになりました。

この他にも、各常任委員会では移住者への車両補助、男女共生社会の実現、朝の連続ドラマ誘致、温室効果ガス削減対策、県立高校の入試日程など県政全般にわたり幅広く議論が行われました。

こうした審議を経て、閉会日には議員提案の「福井県歯と口腔の健康づくり推進条例案」が可決されるとともに、教育長の人事案件を含む75議案を可決または同意して、付議された案件全ての審議を終了しました。

福井県歯と口腔の健康づくり推進条例について

福井県議会では、歯と口腔の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、県民の生涯にわたる健康の保持増進に寄与することを目的に、2月定例会において、議員提案により「福井県歯と口腔の健康づくり推進条例」を制定しました。

●条例制定の背景

本県の歯科保健の現状を見ると、12歳児のむし歯のない子の割合や、20歳以上で過去1年間に歯科健診を受診した者の割合、80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合が全国と比較して低い水準にある。また、高齢期におけるオーラルフレイル予防や、新型コロナウイルス等の感染症発生時における歯科医療体制の確保等、新たな課題もある。

●福井県歯と口腔の健康づくり推進条例のポイント

目的

- 歯と口腔の健康づくりに関し、県、県民および歯科医療等業務従事者の責務ならびに教育保育関係者、福祉関係者、事業者および医療保険者の役割を明確化
- 歯と口腔の健康づくりに関する施策の基本的な事項を定め、県民の生涯にわたる健康の保持増進に寄与

基本理念

- 県民が、日常生活において歯科疾患を予防するとともに、歯科疾患を早期に発見し、早期に治療を受けることができる環境を整備すること
- 乳幼児期から高齢期までのそれぞれの時期における口腔とその機能の状態および歯科疾患の特性に応じて、必要な歯科保健医療サービスを適切かつ効果的に受けることができる環境を整備すること
- 保健、医療、社会福祉、労働衛生、教育その他の関連施策の有機的な連携を図りつつ、関係者の協力を得て、総合的な歯と口腔の健康づくりを推進する体制を整備すること

歯と口腔の健康づくりを推進するための施策

- 歯と口腔の健康づくりに関する情報の収集および知識の普及啓発の推進
- 高齢期におけるオーラルフレイル予防を通じた摂食嚥下障害の予防、歯と口腔機能の維持の支援および定期的な歯科健診の受診促進
- 感染症の発生時における歯科医療体制の整備および医療物資の確保
- 児童虐待の早期発見の促進のため教育保育関係者、福祉関係者および歯科医療等業務従事者との連携の推進 など

条例の全文は、福井県議会ホームページをご覧ください。



(県の担当部局との意見交換の様子)



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

代表質問

福井県議会だより 第32号 | 3

県会自民党 山岸 猛夫 議員



知事の政治姿勢について

- ・令和3年1月の大雪被害を受けて、平成30年2月豪雪の際に取りまとめた対策の実効性をどのように評価しているのか伺うとともに、前回と同様の被害を招いた原因はどこにあると考えているのか、知事の所見を伺う。
- ・使用済み核燃料の中間貯蔵施設の県外計画地点の提示に実質的な進展が見られない中で、なぜ知事は関西電力との面談で一定の回答があったと評価するのか、県民が納得できる説明が必要と考えるが、所見を伺う。

県会自民党 兼井 大 議員



産業行政について

- ・新型コロナによる県内経済への総括的な影響および1月の緊急事態宣言再発令に伴う県内経済への影響について、知事の所見を伺う。

土木行政について

- ・中部縦貫自動車道大野油坂道路の開通と、舞鶴若狭自動車道および国道8号の4車線化の早期実現に向けた知事の意気込みを伺うとともに、今回の大雪被害を受けた県境部や山岳地域での融雪装置等の整備の必要性について所見を伺う。

民主・みらい 辻 一憲 議員



知事の政治姿勢について

- ・使用済み核燃料の中間貯蔵施設の計画地提示の約束を1度ならず2度も反故にし、今回は最長3年先延ばしになるという状況について、知事の求める事業者の信頼回復は進んでいると考えるのか、知事の所見を伺う。

新型コロナウイルス感染症への対応について

- ・ワクチン接種体制について、医師や看護師の派遣といった人的支援など実施主体の市町への支援を強化して、より安全で効果的なワクチン接種体制を確立するとともに、県民のワクチン接種を促進するため、接種率など県として目標を掲げることも必要ではないかと考えるが、知事の所見を伺う。

一般質問

県会自民党 山浦 光一郎 議員



- ・大雪対策について
- ・県内企業や県民との協力関係構築について
- ・ポストコロナ時代における経済政策について
- ・アスリート支援のためのふるさと納税制度の改善について

皆さんからいただいた大雪対策案を踏まえて、県として具体案を作ります！

民主・みらい 北川 博規 議員



- ・生活困窮者の現状と支援策について
- ・バリアフリーの取組と課題について

これからも、確実な現状把握の下、生活者に寄り添った県政を求めています。

県会自民党 小堀 友廣 議員



- ・エネルギー政策について
- ・海岸漂着ゴミについて
- ・台湾の国策に我々が学ぶべきものについて

原子力発電再稼働・海岸漂着物・台湾のAI政策について質問しました。

県会自民党 山本 建 議員



- ・結婚応援について
- ・県有施設における再エネ・省エネについて
- ・行政手続の電子化について
- ・県立学校の修学旅行について
- ・高速道路における降雪時の交通取締りについて

県民の皆さまからのご意見を中心に質問させて頂きました。

一般質問

無所属 細川 かをり 議員



- ・人事評価について
- ・特別養子縁組について
- ・原子力政策について

福島原発事故から10年、私が見てきた福島の状況を伝えながら質問しました。

日本共産党福井県議会議員団 佐藤 正雄 議員



- ・危うい原子力行政
- ・大雪災害時こそ生活を守る対策を
- ・コロナ禍で生命を守る施策を
- ・オリンピック・パラリンピックについて

40年超原発の60年運転はますます県民の不安増大です。再稼働反対です！

県会自民党 松崎 雄城 議員



- ・新型コロナウイルス感染者数減少後の観光政策について
- ・水産学術産業拠点について
- ・嶺南Eコーストについて

北陸3県の連携、福井の水産技術の発展、エネルギー技術の活用を伺いました。

県会自民党 長田 光広 議員



- ・大雪対策の強化について
- ・福井駅周辺のまちづくりについて
- ・産業振興について
- ・FCV普及策について

脱コロナ！しっかり抑止しアフターコロナの県の成長を狙い励みます。

県会自民党 田中 三津彦 議員



- ・1月の大雪対応について
- ・中高連携への取組について
- ・道路整備プログラムについて

勝山市における中高併設・連携の実現に向け、今後も積極的に活動します。

公明党 西本 恵一 議員



- ・新型コロナウイルス対策について
- ・ジェネリック医薬品の信頼回復に向けて
- ・理学療法士の活用について

市町におけるワクチン接種が滞りなく実施できるよう県の支援を要望しました。

県会自民党 小寺 惣吉 議員



- ・農業行政について
- ・高校教育について
- ・豪雪対応について
- ・フルマラソンの開催について

地域みらい留学を導入すべきと考えるが全国から集まる生徒の寮など住居の確保を

民主・みらい 野田 哲生 議員



- ・福井県知事の前発議論の進め方について
- ・災害時の県民活躍について
- ・次世代自動車普及促進について
- ・小中学校における難聴支援学級について
- ・福井県DXプログラムと行政許可申請について

行政DXや次世代自動車の取組に対し先行する政策のあり方を提言しました。

県会自民党 田中 宏典 議員



- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・原子力・エネルギー政策について

原子力発電所40年超運転、核燃料サイクル、原子力の未来を明確に示せ！

民主・みらい 渡辺 大輔 議員



- ・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種体制について
- ・学校教育における障がい児への合理的配慮について
- ・除雪体制強化策について
- ・元気な高齢者の活躍支援について

ワクチン接種体制、大雪時の除雪強化策、障がい児への合理的配慮について質疑

◆本会議・委員会の傍聴のお知らせ

本会議の傍聴は、当日の先着順です。議事堂2階の傍聴席入口前で傍聴券を受け取り、入場してください。傍聴席には、質疑等の内容を文字データでお知らせするモニターを配置しています（代表質問および一般質問）。

委員会の傍聴は、各委員会開催日の3日前（土・日・祝日を除く）の正午までに申込みをしてください。傍聴希望者が定員を超えたときは抽選となります。

詳細は、福井県議会のホームページをご覧ください。 HP : <https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/>



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

予算決算特別委員会

福井県議会だより 第32号 | 5

県会自民党 清水 智信 議員



- ・大雪について
- ・タクシー支援(地域公共交通利用促進策)について
- ・県独自の移住政策について
- ・東尋坊周辺を活用した街づくり(二次交通の充実)について
- ・不妊治療中核施設について

大雪タクシー支援、県独自の移住政策や東尋坊の二次交通について提言した。

県会自民党 関 孝治 議員



- ・医薬品の安全管理について
- ・原子力について

薬品製造の誤りの是正と原子力発電の政策を議論致しました。

県会自民党 力野 豊 議員



- ・エネルギー政策について
- ・新幹線開業に合わせたテレビ番組について
(1)NHK朝ドラ
(2)旅番組・グルメ番組
- ・「全国豊かな海づくり大会」2巡目誘致について

令和6年新幹線開業に合せ「全国豊かな海づくり大会」を開催し機運醸成を！

無所属 鈴木 宏治 議員



- ・福祉日本一の県づくり
(1)子育て支援について
(2)障がい者支援について
(3)高齢者福祉について

「福祉日本一の県づくり」というテーマで、福祉政策を議論しました。

県会自民党 田中 敏幸 議員



- ・原子力行政について
小型高速炉の実用化と産業の転換

安全な小型高速炉を実現し、原子力政策、原子力の概念の転換をはかる。

県会自民党 西本 正俊 議員



- ・原子力行政について
- ・令和3年1月の大雪について
- ・北陸新幹線について

北陸新幹線敦賀以西の認可着工に向け関西の機運醸成の取組について質した。

県会自民党 宮本 俊 議員



- ・大雪対策について
- ・温室効果ガス(CO₂)排出削減対策について
- ・並行在来線会社について

大雪対策、並行在来線会社等、国がしっかり支援すべき事業と考えています。

民主・みらい 西畑 知佐代 議員



- ・女性活躍社会の推進について
- ・高齢者福祉行政について
- ・河川の整備について

多様な性やLGBTの理解促進、普及啓発に今後取り組むと回答を得た。

県会自民党 鈴木 宏紀 議員



- ・1月の大雪について
- ・原子力政策について

県会自民党 大森 哲男 議員



- ・若狭(嶺南地域)の夢ある未来に向けて
- ・発達障がい者の就労の課題
- ・福井県都の再生について

越前若狭は一体、原子力発電の40年超稼働について県民皆で十分に議論を！

県会自民党 仲倉 典克 議員



- ・県政全般について

原子力政策をはじめ県政全般にわたり会派の総括質疑をさせていただきました。

予算決算特別委員会では、田中 三津彦 議員、北川 博規 議員、西本 恵一 議員、辻 一憲 議員も質問を行っています。

代表質問、一般質問を行った議員は、この欄には掲載していませんが、審議の様子は、YouTubeでご覧になれます。

常任委員会

総務教育常任委員会

「福井県立学校職員定数条例の一部改正について」、「福井県職員の服務の宣誓に関する条例等の一部改正について」、「福井県一般職の職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について」などの11議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、福井県多文化共生推進プラン（案）について、「基本目標のKPIの内容」などについて質疑を行いました。このほか、「ICT教育」、「公立小学校の少人数学級化」、「難聴者への教育」、「就職氷河期世代対象や移住・定住促進枠の職員採用」、「北陸新幹線」などについて議論しました。



福井県多文化共生推進プラン策定委員会の様子

厚生常任委員会

「福井県歯と口腔の健康づくり推進条例（案）」、「福井県犯罪被害者等支援条例の制定について」などの10議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、使用済核燃料の中間貯蔵施設について、関西電力の計画地点の提示における知事の「一定の回答があった」という評価について、様々な意見が述べられました。また、40年超運転となる美浜3号機、高浜1、2号機の再稼働に関して質疑を行いました。このほか、「新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種」、「医薬品製造販売業者に対する行政処分」などについて議論しました。



高浜発電所1、2号機

産業常任委員会

「指定管理者の指定について（福井県立アーチェリーセンター・福井県立クライミングセンター）」、「福井県工業技術センター使用料および手数料徴収条例の一部改正について」などの6議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、フルマラソンの開催について、「開催に向けたスケジュール」、「事業費の内訳」などについて質疑を行いました。このほか、「『FUKUI TRAD』プロジェクト」、「六呂師高原の活性化」、「福井県版持続化給付金」、「大雪による被害を受けた農業用ハウスの復旧」、「水産学術産業拠点の整備」などについて議論しました。



水産学術産業拠点のイメージ

土木警察常任委員会

「福井県土地開発基金条例の廃止について」、「県有財産の処分について」などの4議案について、慎重に審査を行った結果、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、道路の除雪について「1月の大雪時の渋滞・滞留を踏まえた今後の対策」、「除雪オペレーターの確保」等の質疑を行いました。このほか、「歩行者の交通事故防止対策」、「特殊詐欺の現状と被害防止対策」、「女性が被害者となる犯罪の現状と対策」、「大雪時の警察の対応」、「永平寺町で発生した土砂崩れ」、「道路の将来ビジョンの改定」、「建設産業の担い手確保対策」などについて議論しました。



除雪の様子



本委員会に付託された令和3年度福井県一般会計予算などの39議案について審査を行った結果、原案のとおり可決しました。

審査の過程であった主な質問や意見は次のとおりです。

○原子力・エネルギー政策について

40年超運転となる高浜1、2号機、美浜3号機の再稼働に関し議論が集中しました。

まず、使用済核燃料中間貯蔵施設についての知事の一連の発言について、委員の多くから「計画地点の提示について一定の回答があったとする評価については納得できない」、「県民や議会に誤解を与えている」、「前提としたり、別々の問題だと切り離したり議論の焦点が定まらない」との意見が述べられました。最後の質問者が、「一定の回答があったと評価し、前提を満たしたと判断したことを撤回してほしい」とただしたのに対し、知事からは「むつ市の理解が得られていない状況で、確定に向けて具体的に物事が進んだ、と県が評価したと受け止められたのであれば本意ではない。計画地点の『提示』と『確定』の違いについて説明が足りなかったことについて申し訳なく思う」との回答がなされました。

また、今議会、知事から要請のあった再稼働の議論について、委員からは、「立地である高浜町、美浜町の再稼働同意の判断は極めて重く受け止めるべき」、「立地地域の実情を鑑みて早期に再稼働の判断をすべき」との意見が述べられました。

一方、再稼働の判断材料は揃ったと考えているのかただしたのに対し、「国や事業者には様々な課題を投げかけているが、特に、国民の原子力の必要性に対する理解、原子力の位置づけ、さらには立地地域の将来像についてはまだまだ足りておらず、国や事業者の回答を待ちたい」との見解が示されました。これに対し、委員からは、「40年超運転は全国初の事例であり、我々議会も慎重に判断しなければならないと考えている。判断材料が揃った段階で再稼働の議論を進めていきたい」との見解が述べられました。

さらに、最近の国の原子力政策の方向性が不透明なことについても論及があり、委員からは「方向性が定まらないままでは福井県は振り回される。国が、主体性をもって取り組むべきであり、今夏

策定される第6次エネルギー基本計画に、原子力政策の明確な方向性、福井県の位置づけ、立地地域の持続的発展に向けた道筋を明記させるべき」との提言がなされました。

○令和3年1月の大雪被害の対応について

北陸自動車道・国道8号の予防的同時通行止めの方針について、国やNEXCOに対して1ラインであっても安易に止めないことを求める姿勢が必要ではないかとただしたのに対し、「人命もかかっており、想定もしないような大雪の場合は事前の通行止めもあり得るが、大きな社会的影響があるため安易に両方とも止めることがないように常に求めていく」との見解が示されました。

このほか、今回の大雪の課題等を踏まえた除雪体制の強化や県、市町、業者間の連携方法の改善について意見が述べられました。

○その他

新型コロナウイルスワクチンの接種計画、北陸新幹線の整備とまちづくり、えちぜん鉄道小舟渡駅周辺の土砂崩れへの対応、来年度の県立高校入試日程の変更、医薬品の安全管理、発達障がい者の就労支援、不妊治療患者の受入体制、子育て支援など広範多岐にわたり、理事者の見解と対応をたしました。



予算決算特別委員会の様子

議会改革検討会議では、議会機能の強化や運営改善について検討を行い、改革を進めています。

特に令和2年度には、議会運営のICT化について検討するためのワーキンググループを設け、ペーパーレス化や委員会等のオンライン開催、ICTを活用した議会広報の取り組みなどについて議論を重ねてきました。同検討会議ではこの他にも、政務活動費の透明性確保や高校生県議会の開催についても検討を行いました。

この中から、県民の皆様との関わりの深い令和3年度の3つの活動についてご紹介します。

高校生県議会の開催

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを契機に、次世代を担う高校生が県議会議員の活動を実体験し、県議会や県議会議員への関心を高めることを目的に、「ふくい高校生県議会」を開催しています。（令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止）

令和3年度は夏ごろに模擬委員会を開催し、高校生の皆さんが抱えている県政への提案や、日ごろ感じている疑問などについて、県職員と協議を行っていただきます。詳しくは、4月中旬に県内の各高校にお送りする募集案内をご覧ください。



オンラインによる意見交換会の開催

令和2年度の意見交換会は、県議会議事堂において介護福祉に携わる女性や若手経営者の皆さんと行いましたが、このような対面方式では地理的・時間的な制約が生じます。そこで令和3年度は、会場に集合して行う対面方式だけではなく、インターネットを通じたWeb会議方式も追加し、参加しやすい環境を整えます。

対面方式によって生じる制約を軽減することができますので、より幅広い地域や年齢層の皆様との意見交換を行ってまいります。

SNSを活用した県議会情報の発信

県議会のホームページでは、「定例会等日程」や「議案等の審議結果」「議会広報」などを掲載するとともに、YouTube（ユーチューブ）においても審議の様子を動画にて紹介しています。

令和3年度は、新たにFacebookを通じて発信することにより、県議会情報へのアクセス性の向上を図ります。

「福井県議会だより」へのご感想をお聞かせください。

福井県議会ホームページの「福井県議会だよりアンケート」のページから、ご感想、ご意見を願います。



発行 福井県議会広報会議

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

福井県議会 議会局総務課

電話：0776-20-0605 FAX：0776-20-0674

HP：https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/